

# 整理整とん



角田 千力

この夏ほど整理整とんという事について考えさせられたことはない。

一つには、六月に行った児童のモラルについての保護者の意識調査の結果、「整理整とんがよくできない」という項目についての指摘がどの学年も在籍の半数以上を占め、次位の項目とは大きな隔たりを見せていたからだ。

これは、早いころ職員で実施した「本校児童に欠けていると思われるもの」としての調査で、道徳指導要領三十二項目の中から第一番目選ばれた「整理整とん」の項目と一致しており、今後の指導の重点としてはつきり浮かび上がったのである。

また、私的な事になるが、都合で家を取りこわすことになり、家財道具を整理して引越す立場となつてのそれで

五年生五十二名の中で、この調査の「整理整とんがよくできない」という項目にチェックされた者は二十七名であつた。

それで、五年生を対象に整理整とんについての実態を更に調べてみた。

- 1 整理整とんのよくできない様子について
- (1)使った物がそのまま (17)
  - (2)机の上が乱雑 (4)
  - (3)かばんの置きっぱなし (3)
  - (4)引き出しの中が乱雑 (3)
- 2 整理整とんがよくできないわけについて
- (1)めんどうくさい (14)
  - (2)後でやるつもりで忘れる (5)
  - (3)遊びたい (4)
  - (4)しまう所がない (4)
- 3 整理整とんをよくやっているわけについて
- (1)きちんとしておく気持ちがいい

- (2)かたづけがおかないと家の人にきつく叱られる (7)
  - (3)始末が悪くて困つた事があつたら (5)
- へ1・2の調査は二十七名の中の人数で、3は、二十五名の中の人数

この調査から、めんどうだから、又は早く遊びたいから使つた物やかばんをそのままにしてしまふ児童が多いことがわかる。また、学校の中では身の回りの整とんがきちんとできているのに家からはよくできないとされたり、よくやっているのは家の人がこわいためだりしている。

整理整とんとは、と言葉では多数の



実践をとおして整理整とん

児童がわかつていながら、実践面では大きな隔たりのあるのがよくわかる。また、よくできないわけとして、しまふ所がないといつてゐるがこれは物があり過ぎることの裏返しでもある。大量生産、そして消費、情報過多の時代の姿として、子供ばかりか私自身にもじゅうぶんうなずけることである。引越しには、思い切つて処分しないとかたづかないからと何人かの人に声をかけられ、そのつもりで必要な物を選んで箱につめた。ところが箱の数がどンドン増えるばかりで困つてしまつた。

残して置けば役に立つ時がある本・布・衣類なのにと、これらが極度に不足した時代を生きてきた身にはなかなかふんぎりのつかない事が多い。娘の方は、二年使わなかつたら不用として整理しないとやり場がなくなるからとこわいほど能率を上げてかたづけてしまつた。

それにしても、引き出物やお返し物にいただいたまましまひ込んでいた品の意外に多いのに驚いた。

わが家では近い将来三人の子供たちの結婚式をあげるようになる。長男の場合、今までに招待していただいている関係から、慣習に従うようになろうが、あとの子供については、もっと合理的な方法を考えたいものだと思ふ。実践化をめざして児童の身につけさせたい整理整とんは、私自身にとつても大きな課題となつてゐるのである。